

一般廃棄物ごみ固形燃料（RDF）製造終了と中継施設化について（報告）

1. 経 緯

（１）2002（平成 14）年 7 月の花垣地区と上野市ほか 4 か町村環境衛生組合との協定により、現在のさくらリサイクルセンターでごみを固形燃料（RDF）化し、桑名の三重ごみ固形燃料発電所で処理を行っている。（稼働期限：2021 年 3 月 31 日）

（２）2017（平成 29）年 4 月の三重県 RDF 運営協議会において、桑名広域清掃事業組合から早期終了の提案があり、2018（平成 30）年 7 月の総会において、RDF 製造団体は 2019 年 9 月を軸に終了し、新たなごみ処理体制に移行することなどが決議された。

伊賀市も桑名広域清掃事業組合と同様に RDF 化事業の終了を前倒しする方向とし、「廃棄物処理のあり方答申」に沿って、さくらリサイクルセンターを中継施設とし民間処理委託を行うことで、関係地区に対し説明を行い、地元からのご意見を伺いながら協議を進め、このほど協議が整った。

2. その他

（１）2019（平成 31）年 2 月 5 日

さくらリサイクルセンター中継設備等設置工事 入札実施